

Mito city



水戸市のこども・子育て支援について

令和8年7月

水戸市



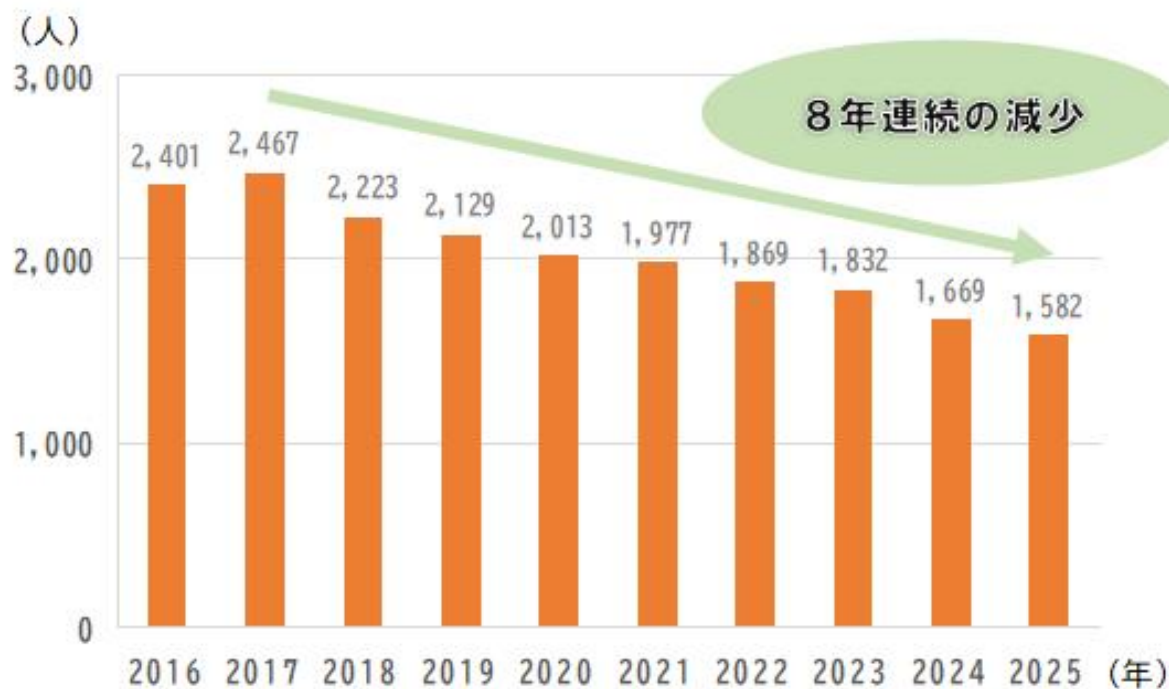
Mito city

水戸市の現状



出生数の推移

水戸市の出生数の推移



水戸市の出生数

2021年に2,000人を
割り込み、

2025年は1,582人と
なった。

8年連続の減少となり、
少子化が進行している。



合計特殊出生率

水戸市と国の合計特殊出生率

	2020年	2024年
水戸市	1.39	1.23
国	1.33	1.15

※ 合計特殊出生率

1人の女性が生涯に出産する見込みのこどもの数

合計特殊出生率は、国を上回っているものの、低い状況が続いている。

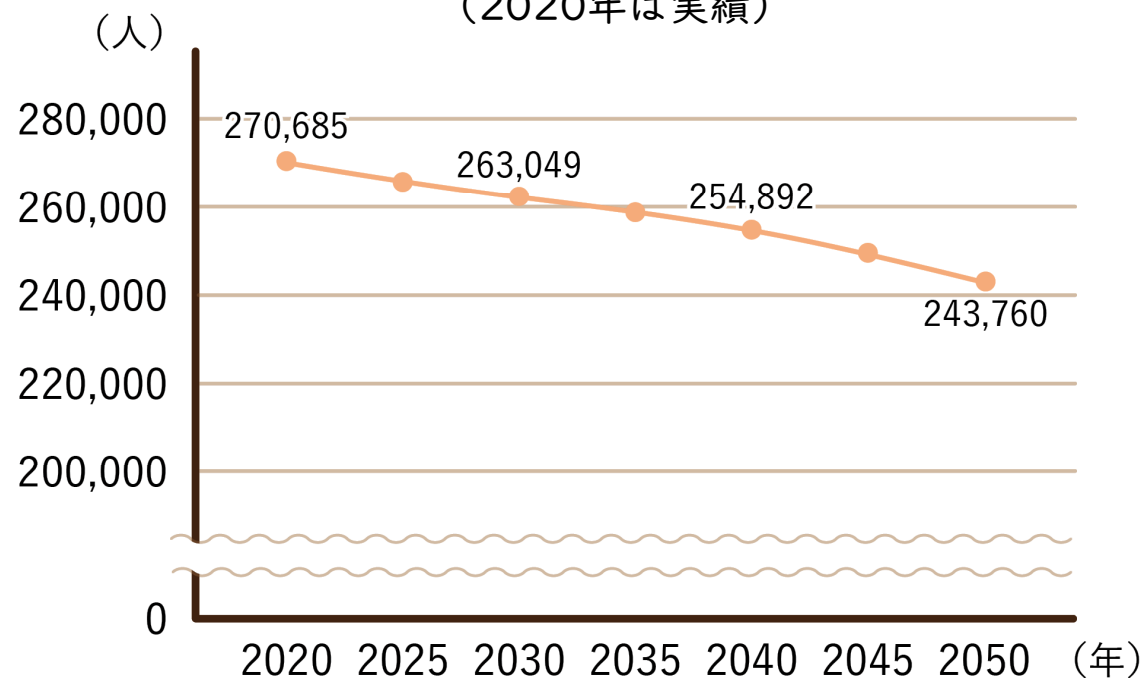
【人口置換水準】

現在の人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07以上必要となる。



総人口の推計

水戸市の総人口推計
(2020年は実績)



水戸市の総人口は、
2050年に243,760人
まで減少すると推計され
ている。

国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」



年齢区分別人口の推計

水戸市の年齢区分別人口推計
(2020年は実績)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
年少人口 (0～14歳)	33,839	31,256	28,919	27,344	26,988	26,435	25,375
生産年齢人口 (15～64歳)	163,963	160,054	156,819	151,093	141,609	134,761	129,240
高齢者人口 (65歳以上)	72,883	74,853	77,311	80,921	86,295	88,487	89,145
総人口	270,685	266,163	263,049	259,358	254,892	249,683	243,760

年少人口、生産年齢人口ともに、2050年には20%以上減少する。

一方で、高齢者人口は20%以上増加する。

国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」



なぜ子育て支援を強化するのか



少子化の進行による影響

少子化の進行

- ⇒ こども減少にとどまらず、将来的な生産年齢人口の減少を招く。
- ⇒ 生産年齢人口 $\div$ 労働力人口 であることから、経済規模の縮小を招くだけでなく、地域社会の担い手の減少にもつながる。
- ⇒ 社会全体の活力の低下を引き起こすおそれがある。また、社会保障制度の維持が困難になるおそれもある。



少子化が進行する要因

○晩婚化、非婚化

経済的な不安定さ、出会いの機会の減少

○晩産化、少産化

結婚、出産の高年齢化、平均理想こども数の減少

○共働き世帯の増加

仕事と子育ての両立の難しさ、家事・育児に係る負担の女性への偏り

○育児に係る負担

子育ての孤立感、子育てや教育に係る費用負担



少子化の進行を止めるためには

結婚したいができない



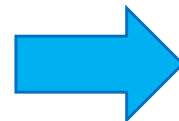
結婚支援、所得増加

出産を希望しているが、
妊娠、出産に結びつかない



不妊治療、不育治療

共働き世帯の増加



仕事と子育ての両立支援

育児に係る経済的負担や
心身の負担



育児負担の軽減



子育て支援の強化

少子化、人口減少による困難な事態が顕在化する前に、それを防ぐための取組を実施する必要がある。

しかしながら、少子化対策、出生率の向上を図るための取組には、即効性がない。

そのため、結婚支援や出産支援、さらには、仕事と子育ての両立支援等について、今、強化しなければならない。



こども・子育て支援 国の取組について



最近の国の主な取組

令和5年4月 こども家庭庁を設置

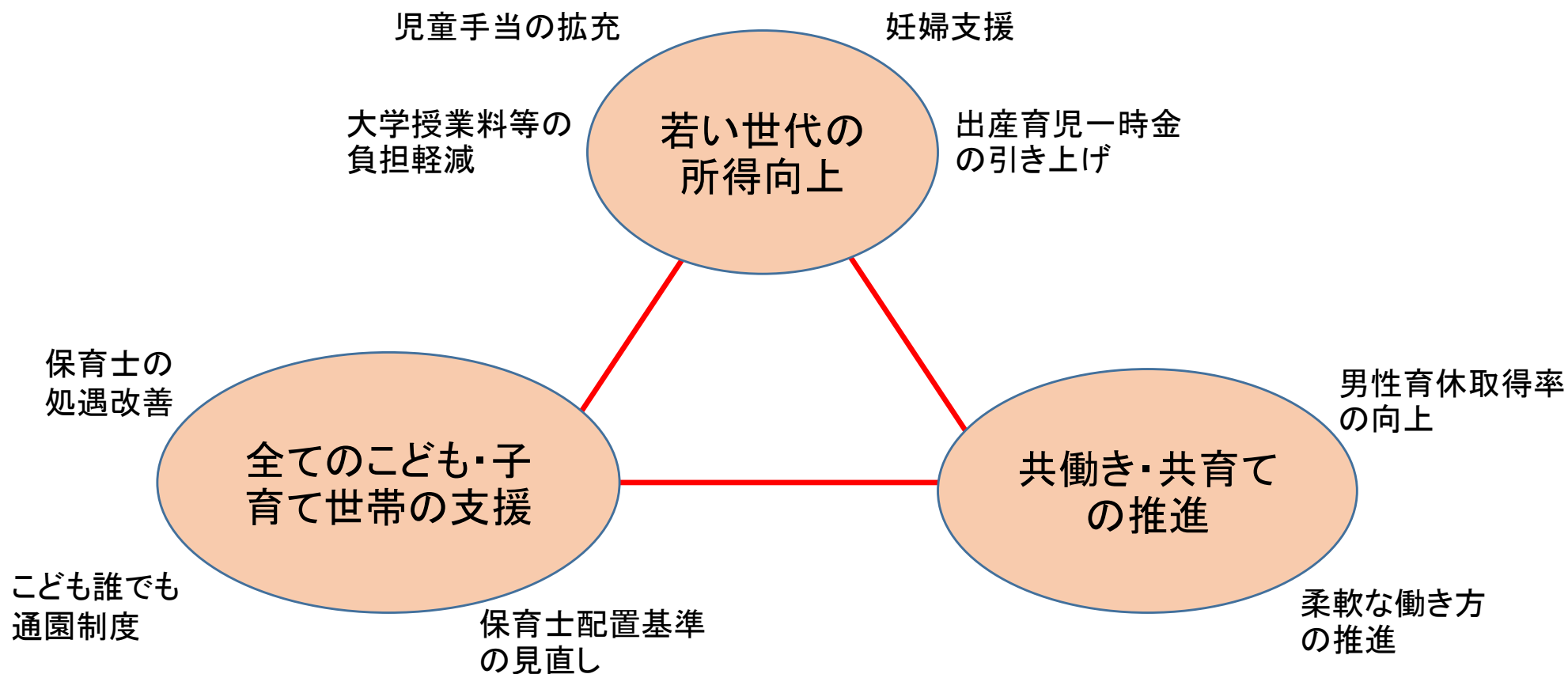
こども基本法の施行

⇒ 「こどもまんなか社会」の実現を目指す
(全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会)

12月 こども未来戦略(加速化プラン)の策定
少子化対策のため、R6～R8の3年間で集中的な取組を実施



こども未来戦略（加速化プラン）の概要





Mito city

こども・子育て支援
水戸市の取組について



基本的な考え方

持続的に発展するまちの実現



原動力となる『人づくり』に力を入れる



最重要！

未来をリードするこどもたちを社会全体で育む



様々な取組をスピード感を持って実行



これまで取り組んできたこと①

例えば、、、

◎放課後学級待機児童ゼロの達成(R2)

学級数の増設などを推進

◎こどもの医療費助成制度の拡充

対象年齢：12歳まで→18歳まで(通院)

所得制限：あり→なし

さらに↓



これまで取り組んできたこと②

令和4年4月 「こども部」を新たに設置

こども・子育てに関する課題に迅速に対応

※ 国のこども家庭庁設置より1年早い



こども部設置後の取組①

○経済的負担の軽減

① 小・中学校新入生応援金の給付

独自!

小学校入学時 児童1人当たり**3万円**を支給

中学校入学時 生徒1人当たり**3万円**を支給

② 市立中学校給食費の無償化

独自!

1人当たり年間約5万円 → **無料**

③ 出産・子育て応援ギフト(妊婦支援給付金)

妊娠時に**5万円**、出産後に**5万円**を支給



こども部設置後の取組②

○相談・支援の充実

① 「伴走型相談支援」の実施

妊娠期～産後 保健師・助産師による面談等を行い、悩みや不安に寄り添う

② 子育て世帯訪問支援の実施

子育てに不安を抱える世帯等を訪問し、家事や育児を支援



水戸市第7次総合計画 ーみと魁・Next+プランー に基づく取組について



水戸市第7次総合計画の策定

水戸市第7次総合計画

(計画期間 2024(R6)年度
~2033(R15)年度)

本市の更なる飛躍を図るため、人口減少・超高齢社会への対応、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化などへの積極的な対応が必要であり、これまでの取組の更なる深化、充実を図ることはもとより、市民が将来に明るい展望の持てる新たな水戸のまちづくりのビジョンとして、水戸市第7次総合計画を策定した。



水戸市第7次総合計画の基本理念

【三つの基本理念】

水戸の未来をリードする「こどもたち」を育むまちをつくる

市民の豊かな暮らしを実現できる「経済発展」するまちをつくる

誰もが生き生きと暮らせる「安心」できるまちをつくる

自ら学び、行動するこどもたちの主体性を大切にしながら、水戸の未来をリードするこどもたちをまち全体で育み、若い世代に選ばれるまちを目指します。



水戸市第7次総合計画重点プロジェクト

～水戸の未来をリードするこどもたちを育む～
「みとっこ未来プロジェクト」

3本柱になって
支える力を強化
！！

【目指す姿】

子育て世帯にやさしく、安心してこどもを生み育てることができ、若い世代に選ばれるまち

「まちの未来」そのものであるこどもたちをまち全体で育み、こどもがのびのびと育つまち

【戦略的な取組】

経済的負担の軽減

相談・支援の充実

こどもが活動しやすい
環境づくり ※追加



経済的負担の軽減

1 経済的負担の軽減

- ◆ 出産・子育て応援ギフトによる妊娠時、出産後の支援
- ◆ 妊婦健康診査、産婦健康診査、多胎妊娠の妊婦健康診査の支援
- ◆ 不妊治療費、不育症治療費の助成
- ◆ 医療福祉費助成（妊産婦マル福、こどもマル福）
- ◆ 0～2歳児保育料の軽減、段階的無償化
- ◆ 小・中学校新入生応援金による新入学時の支援
- ◆ 市立中学校給食費無償化の継続
- ◆ 市立小学校給食費の無償化
- ◆ 結婚支援、結婚新生活支援の推進
- ◆ 子育て世帯の住まいの支援

みとっこ未来パッケージで取り組んできた内容をさらに**充実・強化**

結婚 → 妊娠・出産 → 育児 切れ目のない支援を実施

具体的な内容は、、、 ↓



経済的負担の軽減（つづき）

◎ 市立小学校給食費を半額(R6) → 無償化(R7)

独自!

小・中学校給食費の**完全無償化**を実現

小中学校9年間で**432,300円** → **無料**

◎ 結婚新生活支援補助金の支給

新婚世帯等の住宅取得費用等に**最大60万円**を補助

◎ 妊産婦の医療費助成制度の拡充

独自!

所得制限: あり → **なし**



経済的負担の軽減（つづき）

独自!

◎ 市営住宅を子育て世帯向けにリノベーション

さらに、R8からは新たに、

独自!

New!

◎ 第2子保育料の無償化を実施
（第3子以降は無償化実施済み。）



相談・支援の充実

2 相談・支援の充実

- ◆ 妊婦や子育て世帯への寄り添い支援
(伴走型相談支援)
- ◆ 子育て世帯訪問支援
- ◆ 「すまいるママみと」を中心とした妊産婦支援
- ◆ こども・子育て関連手続き等のD Xの推進
- ◆ 放課後児童の居場所づくり
- ◆ 市民センターを活用した子育て支援

経済的負担の軽減と同様に、みとっこ未来パッケージで取り組んできた内容を**充実・強化**

◎ こども家庭センターの設置

母子保健
児童福祉

相談・支援の一体的な実施を充実



相談・支援の充実（つづき）

- ◎ 『すまいるママみと』を中心とした妊産婦支援
乳児家庭全戸訪問事業 訪問件数：1,562件（R7）
妊産婦相談 相談件数：2,555件（R7）

独自!

- ◎ **5歳児健康診査**の開始（R8）

New!

こどもの発達状況の早期把握、適切な支援につなげる



相談・支援の充実（つづき）

◎ 病児保育・病後児保育の実施

こどもが、病気や、病気からの回復期等に家庭で保育できない場合、看護師や保育士が一時的に預かり、保育を行う。

- ・病児保育（2か所）
 - ・病後児保育（3か所）
 - ・体調不良児型（1か所）
- 利用者数：359人（R7）

保育者が自宅に訪問して預かり保育を行う訪問型もあり。
訪問型を実施しているのは水戸市を含めて**全国5か所のみ**。

- ・訪問型病児保育 利用者数：127人（R7）



★保育所待機児童対策について

New!

◎ 保育所待機児童0(ゼロ)の達成(R8)

未就学児の保育環境の充実を図るため、**最重要課題**であった保育所待機児童の解消に取り組んできた。

【達成までの取組内容】

- ・**定員数の拡充**(3,493人 → 6,968人 **約2倍**)

民間保育所、小規模保育事業(生後2か月～3歳未満。19人以下)の整備、
家庭的保育事業の実施(生後6か月～3歳未満。少人数)

- ・**保育士確保の強化**

復職した場合に**10万円**、新卒の保育士に**2万円**

- ・特別な支援を要する児童の受入れ支援 など

ニーズに応じたきめ細やかな対応



相談・支援の充実（つづき）

独自!



小児オンライン医療相談・オンライン診療の開始（R8）

New!

	小児オンライン医療相談	小児オンライン診療
概 要	スマートフォン等を利用してテキストチャットで問診を行い、医師のアドバイスを受けることができる。	夜間等の体調不良の際に、自宅からビデオ通話で診療を受け、水戸市休日夜間緊急診療所で薬を受け取ることができる。
利用時間	24時間365日	平日・土曜日 18:00～21:30 日曜日・祝日 9:00～13:00 14:00～21:30
対象者	0歳から中学3年生まで	0歳から中学3年生まで
利用料金	無 料	診療料金 (自己負担分)



こども・子育てDXの推進

【子育て世代の特徴】

- ・ 子育て世代の多くはデジタル機器を使い慣れているデジタルネイティブ世代
- ・ 子育てで時間がない、手が離せない。窓口に行くのが難しい。



DXを活用することによって、
利便性向上、負担軽減の効果が特に大きい



こども・子育てDXの推進（情報発信）

【情報発信の取組】

◎ 子育て情報サイト『**水戸市子育てナビ みとっこ1丁目**』





こども・子育てDXの推進（情報発信）

目的別、年齢別でメニューを分かりやすく表示

目的でさがす

 こどもが欲しい	 妊娠した	 出産した	 健診、検査、予防接種	 こどもを預ける
 保育所(園)、幼稚園、認定こども園	 小・中学校	 こどもの発達支援	 こどもの遊び場、居場所、親子交流	 手当、助成
 ひとり親家庭の支援	 病気、ケガ	 住まいの支援	 イベント、講座、教室	 ボランティア活動、意見表明
 子育てアプリ、ガイドブック	 相談したい	 オンライン申請、予約	 お知らせ	 よくある質問

年齢でさがす

 妊娠・出産	 0歳～3歳	 4歳～6歳	 小・中学生	 高校生、青少年
--	--	--	--	--

キーワード検索

Google 検索 検索 ☒ すべて ☐ ページ ☐ PDF

よくある質問 >

見つからないときは >

カレンダーで探す >



こども・子育てDXの推進（情報発信）

◎ ケータイアプリ『みとっこ子育て応援アプリ』



必要な情報を必要な方に届けるため、**プッシュ通知**を活用



こども・子育てDXの推進（オンライン申請・予約）

妊娠届、出生届、児童手当など、様々な手続きが**どこにいても**
24時間いつでも可能

水戸市 子育てナビ
みとっこ1丁目

オンライン申請・届 オンライン予約 手当・給付 各種申し込み

妊産婦のみなさまへ
産前産後のサービス

各種申請・手続き案内

申請・届一覧（様式のダウンロード） [印刷ページ表示](#)

検索

妊娠・出産	子育て・教育
☒ 妊娠がわかった ☒ 出産した ☒ 妊娠を希望している ☒ 予防接種を受けたい ☒ 国民年金保険料の産前産後免除制度を利用したい	☒ 子育て相談を受けたい ☒ 健診を受けたい ☒ 予防接種を受けたい ☒ 一時的に子どもを預けたい ☒ 保育所・保育園・幼稚園に入りたい ☒ 児童手当・扶養手当を知りたい ☒ 子どもの医療費助成を知りたい ☒ ひとり親家庭である ☒ 国民年金保険料の学生納付特例制度を利用したい
結婚・離婚	引越し・住まい
☒ 結婚したい ☐ 離婚したい	☐ 市内で引っ越す ☐ 市外に引っ越す



こども・子育てDXの推進（オンライン申請・予約）

水戸市 子育てナビ **みとこ1丁目**

オンライン申請・届 **オンライン予約** 手当・給付 各種申し込み

こども・子育てに関する窓口、相談等のオンライン予約

ページID : 0107296 更新日 : 2025年11月4日更新 印刷ページ表示

「妊娠届出」「母子健康手帳の交付（妊婦面談）」の予約（市役所本庁舎のみ）

医療機関にて妊娠の診断を受けたら、早め母子健康手帳の交付を受けましょう。

水戸市役所母子健康手帳申請窓口での妊娠届出・母子健康手帳交付（妊婦面談）は現在予約制です。

予約を希望される方は、下記の「水戸市妊娠届作成フォーム」から妊娠届の電子申請を行ってください。

電子申請完了画面より、妊婦面談の日時予約が可能です（2日後以降の開庁日について予約可）。

妊婦面談の際に、母子健康手帳や各種健診受診票を交付します。

※母子健康手帳の郵送は行っておりません。

※内原保健センターでの母子健康手帳交付に関する予約は承っておりません。同センターにて母子健康手帳交付を希望される際は、直接来所ください。

※電子申請のみでは妊娠届出は完了しません。妊娠届の正式な受理日は母子健康手帳の交付日（窓口の来所日）です。母子健康手帳の交付日が適用開始日に影響する制度（妊産婦医療福祉費助成制度（妊産婦マル福））などにも関わりますので、すみやかに交付を受けるようにしてください。

詳細は、母子健康手帳の交付をご覧ください。

【妊娠届作成フォーム】に進む <外部リンク>

妊婦情報

必須 妊婦氏名

必須 妊婦氏名ふりがな

必須 妊婦の生年月日

2000-04-01

必須 妊婦の電話番号

※必ず、日中でも連絡がとれる電話番号を半角数字で入力してください。また、本件については、SMS（ショートメッセージサービス）にてご連絡することがあります。

必須 届出内容の送付先メールアドレス

※必ず、普段使用しているメールアドレスを入力してください

郵便番号

検索

※半角数字（ハイフンなし）で郵便番号を入力した上で、横の検索マークを押し、次の画面で住所を選択してください。

必須 住所（町名等）

必須 住所（番地以降）

- **6割超**の手続きがオンライン化に対応
- オンライン予約の導入により、**待ち時間ゼロ**で手続きが可能



こども・子育てDXの推進（オンライン申請・予約）

その他にも、

◎ 悩みや不安の相談に関する**オンライン相談窓口の開設**
『みとっこ相談フォーム』『みとっこLINE相談』

◎ **LINEによるチャット形式を活用したオンライン申請の導入**

New!

◎ **保育所利用申し込み、放課後学級入級手続きについても**
オンライン申請を可能にするなど、導入を更に拡大

New!



将来的には、こども・子育てに関するあらゆる手続きが
デジタルで完結する環境を実現



こどもが活動しやすい環境づくり

3 こどもが活動しやすい環境づくり

- ◆ 水戸ならではの体験活動の充実
- ◆ 活動できる場の情報発信や交流できる場の創出
- ◆ 公園等のこどもの遊び場の充実
- ◆ こどもの挑戦を応援する仕組みづくり
- ◆ こどもの学習・生活支援の充実
- ◆ こどもの主体性を尊重する仕組みづくり
- ◆ 新たなつながりの場づくりの推進

- ・ 今回、三つ目の柱として独立させて、対策を大幅に強化
- ・ 保護者などからは、猛暑や天候を気にせず遊べる**屋内の遊び場のニーズが高い**



遊び場・居場所（市民センター・多世代交流センター）

◎ 市民センターをこどもが利用しやすい場所に
⇒ **全ての市民センターにこどもスペース**を設置

◎ 子育て支援・多世代交流センターの遊具を充実

【わんぱく・みと】（H19開設）

クラウドファンディングを
活用して遊具を設置

New!





Mito city

遊び場・居場所（市民センター・多世代交流センター）

【はみんぐぱーく・みと】（H24開設）



クラウドファンディングを
活用して遊具を設置



遊び場（公園）の整備

◎ くれふしの里古墳公園をリニューアルオープン

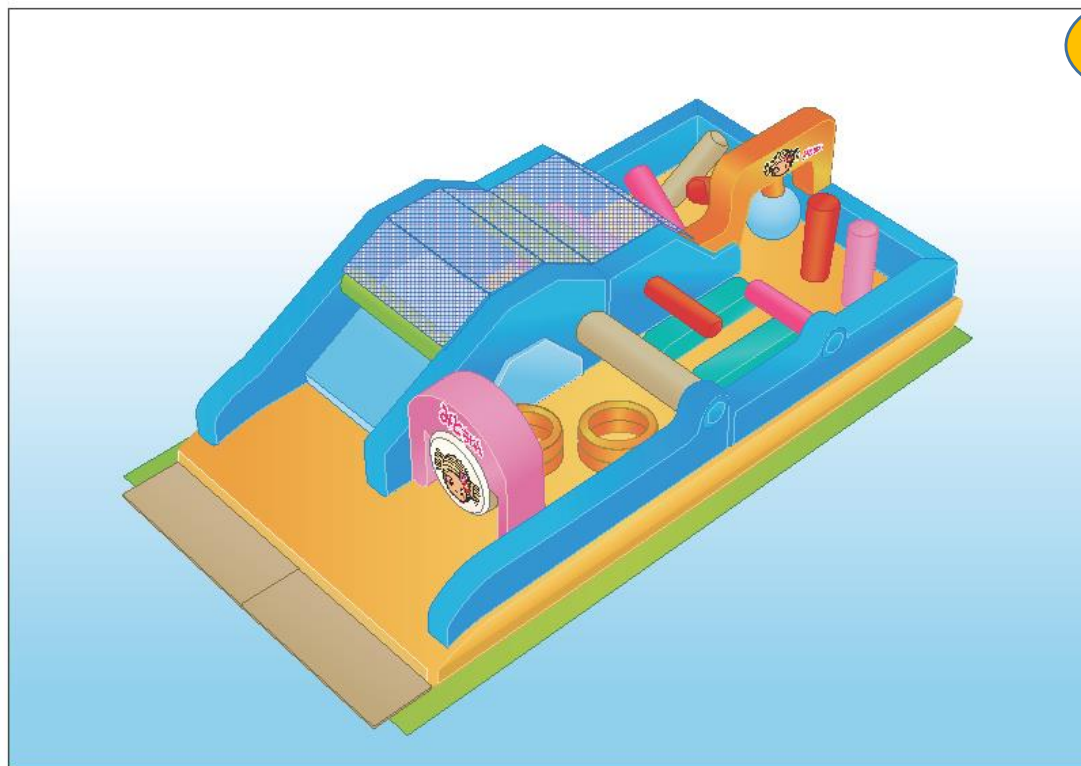


今後、内原駅北出会いの
広場公園のリニューアル
も予定



屋内の遊び場の整備

◎ 今年8月、水戸市役所の中に**キッズスペース**がオープン！



New!

夏休み・冬休み・春休みに幼児、
小学生が安全に楽しく遊べる場所
(平日昼間のみ)

大型の**オリジナルエア遊具**を中心
に、トンネル、ターゲットゲーム、
オセロ、カードゲームなどを取りそ
ろえ、遊ぶ環境を充実

※もちろん**無料**！



今後の取組

- ◎ 子育て世帯の経済的負担の軽減拡大
 - ◎ こども・子育てに関するあらゆる手続きがデジタルで完結する環境の実現
 - ◎ こどもの遊び場・居場所の充実
- 併せて
- ◎ 情報発信力の強化（PR動画の作成、SNSの活用）



水戸の未来をリードするこどもたちの健やかな成長
こどもまんなか社会の実現